



小国川だより

最上小国川治水対策について、お知らせします。

小さなダム・大きな仕事 最上小国川ダム

第28号

平成23年3月10日発行

山形県 最上総合支庁
建設部 河川砂防課

最上小国川ダムの検証について

最上小国川ダム事業の検証に係る対応方針を国へ報告しました

平成23年2月28日(月)に、県はダム(流水型ダム)案を最良な治水対策とする「最上小国川ダム事業の検証に係る対応方針」を国へ報告しました。

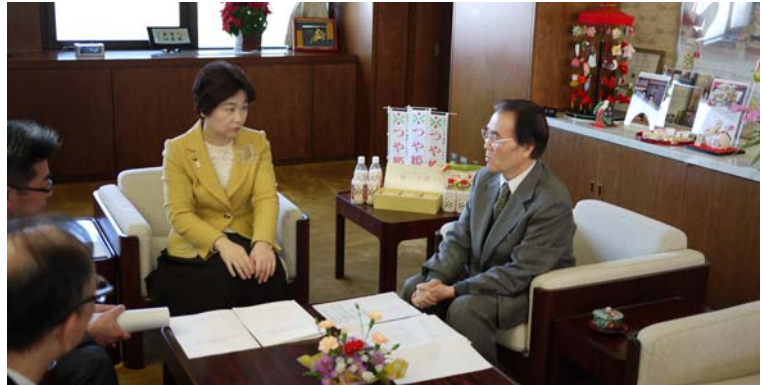
その内容については、県HP(裏ページ※)に掲載しておりますのでご覧ください。

公共事業評価監視委員会が知事へ「対応方針(案)」に関する意見書を提出

2月16日(水)に、山形県公共事業評価監視委員会の大川委員長から、「最上小国川ダム事業の検証に係る対応方針(案)に関する意見書」が吉村知事へ提出されました。

この「意見書」は、「最上小国川ダム事業の検証に係る対応方針(案)」について、公共事業評価監視委員会において審議し、意見をとりまとめたものです。

下記に意見書の本文を示します。



大川委員長(右)が「意見書」を吉村知事へ提出=県庁

「最上小国川ダム事業の検証に係る対応方針(案)」に関する意見書

最上小国川ダム事業については、平成22年9月28日に国土交通大臣から山形県知事に対しダム事業の検証に係る検討を行うよう要請があった。国が定めた「ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目」によれば、県は、ダム事業の検証に係る対応方針(案)を作成し、公共事業評価監視委員会の意見を聴くこととされている。このため、山形県公共事業評価監視委員会では、「最上小国川ダム事業の検証に係る対応方針(案)」について、県からの審査依頼に基づき、これまで現地調査を含め4回にわたって審議を重ねてきたところである。

審議の過程においては、これまでの最上小国川流域の洪水被害状況、治水対策の経緯、最上圏域河川整備計画の内容及び流域自治体や住民、学識経験者等からの意見等について県から説明を受けるとともに、ダム(流水型ダム)案、遊水地案、放水路案、河道改修案の候補地及び赤倉地区の地形・温泉街の立地状況等について現地調査を行った。

県が作成した「最上小国川ダム事業の検証に係る対応方針(案)」への意見提出にあたっては、洪水被害から一日も早く流域住民を守る必要があることから、コスト面だけでなく、治水対策の効果が発現するまでの期間を考慮したほか、環境や地域社会への影響等も含め総合的に検討した。

その結果、当委員会として下記のとおり意見をとりまとめたので提出する。

平成23年2月16日

山形県知事 吉村美栄子 殿

山形県公共事業評価監視委員会

委員長 大川健嗣

(別紙)

「最上小国川ダム事業の検証に係る対応方針(案)」に関する意見

最上小国川の治水対策案として、ダム(流水型ダム)案を最良な治水対策とする「最上小国川ダム事業の検証に係る対応方針(案)」は、妥当である。

「対応方針」の説明会を開催します

このたび決定いたしました「最上小国川ダム事業の検証に係る対応方針」についての県民の皆様への説明会を、下記のとおり開催します。

多くの方のご参加をお待ちしております。

【新庄会場】

日 時 平成23年3月26日（土）
午後2時～午後4時
場 所 新庄市民プラザ
1階大ホール
(新庄市大手町1番60号)
収容人数 300名程度（申込不要）

【山形会場】

日 時 平成23年3月27日（日）
午後2時～午後4時
場 所 山形国際交流プラザ
山形ビッグウイング
4階 中会議室
(山形市平久保100番地)
収容人数 200名程度（申込不要）



対応方針（素案）に対する意見募集の結果について

「最上小国川ダム事業の検証に係る対応方針（素案）」について、県民の皆様からたくさんの御意見をいただき、まことにありがとうございました。いただいた御意見は「最上小国川ダム事業の検証に係る対応方針（案）」を作成する際に参考とさせていただきます。

なお、いただいた御意見及び御意見に対する県の考えをとりまとめ、下記の県HP(※)に掲載しておりますのでご覧ください。

県HP (※) :

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kendoseibi/180006/damseibi/kensho/>

第4回赤倉地区内水対策検討会を開催しました

平成23年2月28日（月）に、最上町赤倉地内の「せんしん館」において、第4回内水対策検討会を開催しました。

今回の検討内容は下記のとおりです。

1. 第3回の内水対策検討会項目の再確認
・内水被害を受ける区域に流入する水量を減らすため流域を分割し、それぞれの流域に適するよう策定した工法について再確認。

2. 各検討項目に係る問題点・実現性の考察
・各工法を現地写真をもとに具体的な計画を説明し、流域毎の工法についての問題点と対応策について協議。

3. 今後の計画等
・平成23年度の検討内容及び対策の具現化に向けた内容を協議。

発行：山形県 最上総合支庁 建設部 河川砂防課
最上小国川ダム建設室 佐藤・後藤
〒996-0002
山形県新庄市金沢字大道上 2034
お問合せ先 電話 0233-29-1407
Email -【前画面を参考にして下さい。】

バックナンバーは県HPからダウンロードできます。
アドレスは下記のとおりです。

http://www.pref.yamagata.jp/regional/mogami_bo/news/news/7314074ogunigawa_news.html